

平成30年度事業計画

I 基本方針

一億総活躍が叫ばれ、高齢者のさらなる役割が期待される中、働きたい高齢者の意欲に応えるためにも、シルバー人材センター機能の一層の推進が求められています。

また、シルバー人材センターでの多様化する就業ニーズに対応するため、派遣就業の拡大と要件緩和、介護保険改正に伴う介護サービスへの参入など、新たな取組みも広がっています

当センターでは、今日までも地域社会の要請にもとづき、社会の担い手、支え手として活躍できるセンターづくりに邁進してきました。

今後も、労働力不足となっている介護・育児の分野などにおける高齢者就業への期待が大きい中で、多様な働き方や就労の広がりがさらに推進され、地域社会の期待とセンターの果たす役割はますます大きくなっていくものと考えられます。

このような状況を踏まえ、平成29年度末に、先の「第2次中期計画（事業活性化計画）」の終了にあたり、これまでの実践と成果の上に立ち、計画的な運営を図るため平成30年度からの「第3次中期計画（2018～2022）」を策定いたしました。

「第3次中期計画」では、

- ・会員の増強
- ・普及啓発の推進
- ・就業機会の拡充
- ・適正就業の推進
- ・安全就業の徹底
- ・組織体制の強化

以上、6つの項目を「第3次中期計画」の進むべき方向性の柱と位置づけました。

この新たな「中期計画」により、今後の社会の変化に対応しながらも、「自主」「自立」「共働」「共助」というシルバーの理念のもと、意欲ある高齢者が多様な地域ニーズの担い手とした、活力と魅力あるセンターをめざしていきます。

II 事業実施計画

平成30年度は、この「第3次中期計画」を実現すべく6つの項目における具体的な方策を事業実施計画として、今後のセンターを取り巻く社会経済情勢や様々な事業施策の推移を見据え、地域ブロックでの懇談会や各種会議等における会員の皆様方からのご提案・要望等を踏まえながら、次のとおり推進してまいります。